

新のざわわこども園建設工事



問い合わせ先
教育委員会
☎0269-85-3115

◆みんなの心のふるさととなる野沢温泉学園の新たな風景

園舎から望む山並みと棚田、そして野沢温泉学園の赤系の屋根が織りなす風景の中でみんなで成長し、村への愛着と誇りを育む自然豊かな保育環境を目指します。

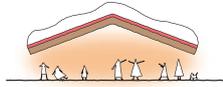


鳥瞰イメージパース

建物の3つのコンセプト

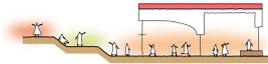
①原風景として未来に引き継ぐ大屋根

こどもたちをしっかりと守る赤系の大屋根が野沢温泉村の風景と調和し、園舎の新しいシンボルとなります。



②ゆるやかにつながる多様な保育環境

だんだん地形を利用した園庭や室内の遊び場がゆるやかにつながり、五感を使って身体いっぱい遊べる内外の空間が一体となった環境とします。



③安心して過ごせる居場所づくり

生活や遊びの場となる部屋の入口をアーチ型にすることで、親しみやすく、安心感のあるこどもの居場所となります。



現在のこども園の老朽化と、2階建て園舎の避難の安全性を解消すべく、また野沢温泉村の自然や伝統を感じられる場所で、こどもたちが元気な身体づくりができる施設を目指して実施設計を進めてきた「新のざわこども園建設事業」は、令和7年3月の議会等で承認を頂いて、令和7年5月に建設工事に着手しました。開発を含む約2力年にわたる工事は令和9年1月末の完成を目指しており、開園準備後、令和9年4月の新学期から開園する計画です。

村民の皆様には、工事完了まで大変ご不便をおかけしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



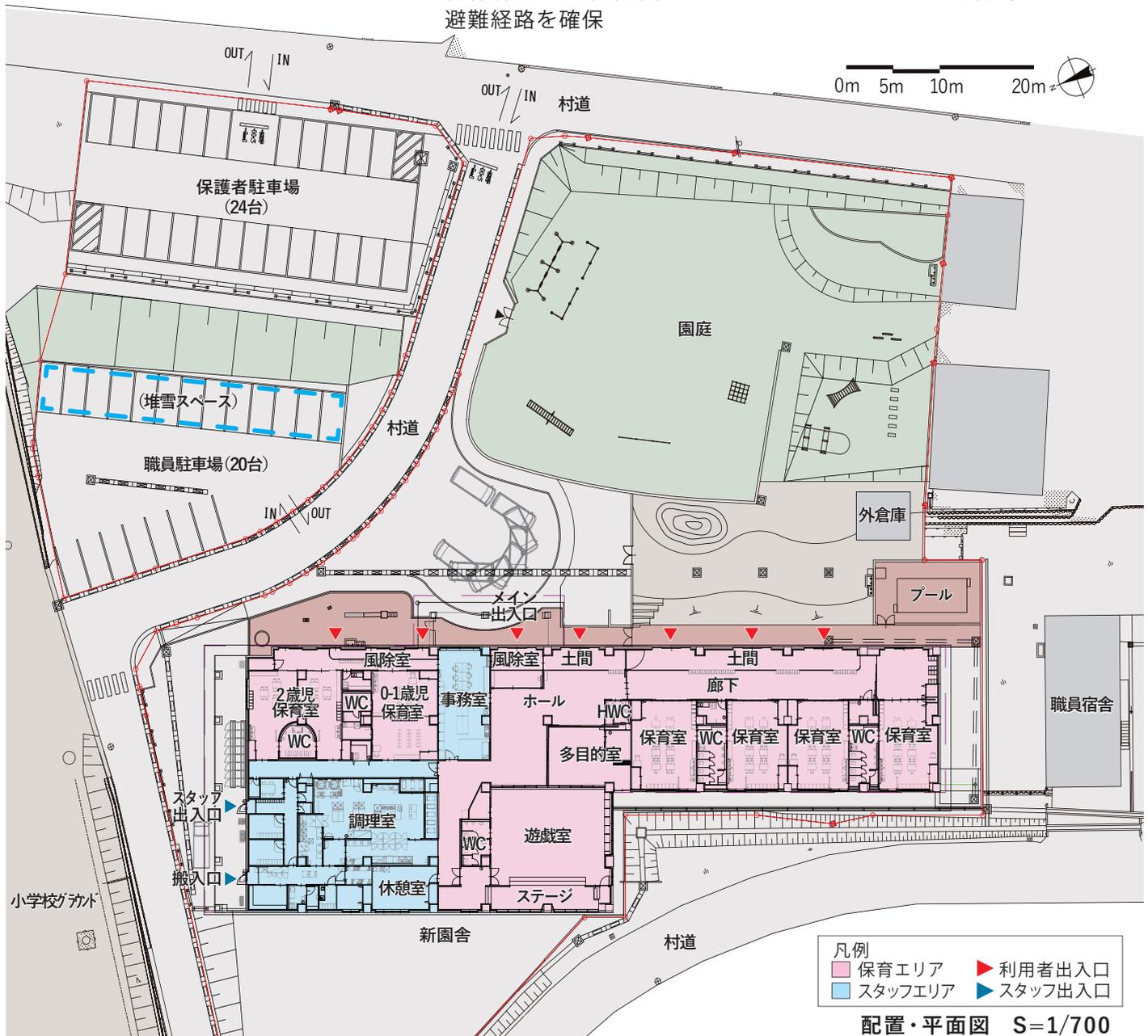
広く明るい園庭から全ての保育室に直接アプローチできる計画です。
悪天候時にはメイン玄関から土間廊下に入ること安全に送り迎えができます。

配置計画のポイント

- 園庭を南東側に配置し
明るく温かい園舎
- 敷地を活かした
活動と発見を促す庭の設置
- 利用者動線と搬入動線を分離し
安全性に配慮
- 十分な堆雪スペースの確保

平面計画のポイント

- ホール・遊戯室を建物の中心とし、にぎわいと交流の場とすることで多様なつながりを創出
- 事務室が中央になるように配置し、防犯・安全対策をするとともにどの部屋にも駆け付けやすく管理がしやすい配置
- 未満児と以上児のエリアを明確に分けた配置
- 保育室前は「土間+廊下」を南東側に配置し、明るく温かい保育環境を確保するとともに、悪天候時でも安心安全に各室にアプローチできる動線を確保
- 各保育室から直接園庭にアプローチができる、災害時の安全な避難経路を確保



配置・平面図 S=1/700

建物の概要

所在地：野沢温泉村大字豊郷
字荒井4309-7 他

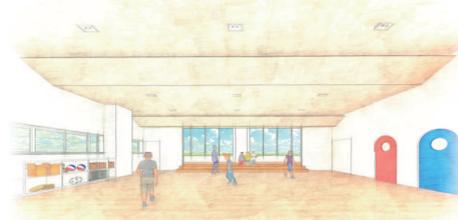
敷地面積：7132.86㎡ (村道を除く)

工事種別：新築工事

構造種別：鉄筋コンクリート造
一部鉄筋鉄骨コンクリート造

延床面積：1531.62㎡

遊戯室：室内で身体いっぱい遊ぶ



室内でも活発に遊びまわることのできる
広々とした開放的な遊戯室とします。ステ
ージ後ろの窓には野沢温泉村の棚田の風景が
あり、普通の遊びの中に豊かな自然を感じる
ことができます。

土間・廊下：明るく温かいアプローチ



十分な広さを確保した土間と廊下空間は、
南東側の園庭から入る陽光によって明るく
開放的な空間となり、遊び場が保育室から
廊下、園庭へとゆるやかに拡がります。